

第9回 愛川町議会意見交換会実施報告書

- 1 日 時 令和4年5月20日（金）
午後7時から午後8時37分まで
- 2 場 所 愛川町役場2階 議場
- 3 参加者 20人（来場者15人、オンライン5人）
- 4 出席者 議長 渡辺 基 副議長 木下眞樹子
議員 井上 博明 議員 小島総一郎
議員 小林 敬子 議員 馬場 司
議員 山中 正樹 議員 井出 一己
議員 佐藤 茂 議員 佐藤 りえ
議員 熊坂 崇徳 議員 玉利 優
議員 鈴木 信一 議員 岸上 敦子
議員 阿部 隆之 議員 茅 孝之
(以上、16人)

5 内 容

- (1) 議会活動状況等報告
- (2) 意見交換

6 記 録

別紙のとおり

第9回 愛川町議会意見交換会記録（要点筆記）

<司会：岸上 議員>

（1）議会活動状況等報告について

<報告者：茅 議員>

（2）意見交換について

問 中津川河川敷でキャンプをしているマナーの悪い人に対し、町として何か対策をとるべきだと思います。埼玉県にある河川敷のキャンプ場で、試行的に有料化を始めるとのニュースがありました。本町においても、他市町村からの情報を集めるなど、有料化へ向けての検討を進めていただきたい。

答 河川敷利用を有料化にする場合、河川敷の整備が必要になるほか、本町には、八菅山、田代、半原など様々な河川敷の利用場所があるため、場所によって有料・無料の差が発生しないように一体的に考えていかなければなりません。

こうしたことから、まずは、田代運動公園（広瀬河原）付近に「環境美化協力金募金箱」を設置するなどの啓蒙活動に力を入れていくこととしました。

問 愛川町に転入してきた人から、本町のごみ集積場は不衛生で景観が悪いといった意見があります。現在、ごみ集積場の管理は、地域住民に委ねられていますが、実際には管理できていないのが現状です。今後は、ごみ集積場の設置等と合わせ、維持管理についても、行政が一元的に管理をするとともに、不法投棄等をなくすために、町の条例において指導をしていく必要があると思います。

答 ごみ集積場の管理については、町へ報告します。

また、不法投棄等に係る条例については、平成24年に「愛川町みんなで守る環境美化のまち条例」を制定し、指導・勧告・命令がなされ、それでも従わない時は、内容等の公表や罰則を科せられたりすることが規定されていますので、条例等が適正に施行されるように町に伝えます。

問 ー昨年から小・中学校でG I G Aスクール構想に基づき、児童・生徒に一人一台の端末が配付されました。しかしながら、W i - F i 環境が整備されていない家庭もあると聞いています。そのような環境にいる子どもたちの救済措置について伺います。

答 自宅にW i - F i 環境がない子どもには、令和4年度から家庭学習用のモバイルW i - F i ルーターを無料で貸出します。

問 小中学校の職員室と各公民館にW i - F i 環境の整備をお願いします。

答 令和4年度の予算で、小中学校の職員室にW i - F i 環境の整備をするるとともに、半原、中津公民館及び文化会館にもW i - F i 環境の整備をします。

問 ホームページでの掲載内容について、町の各種計画をはじめ、子育て支援や観光産業などの必要な情報が探しづらいと感じます。キーワードなどからもっと簡単に検索ができるように工夫してください。

答 令和4年度末にホームページのリニューアルを予定していますので、提案のありました内容を町に伝えます。

問 議会におけるハラスメント対策について伺います。

答 全国町村議長会において、ハラスメントに関するアンケート調査を実施しました。調査では、他市町村の議員間ではパワハラ、セクハラがあるという結果がでています。町議会ではその結果を受けて、「議員活動のコンプライアンス研修」を実施するとともに、「愛川町議員の政治倫理規程」に基づき、ハラスメント対策を行っていかうと考えています。

問 田代小学校校舎の窓枠が外れた損害賠償の件について、今後、管理上の問題もでてくると思いますので、どのような状況で発生したのか伺います。

答 田代小学校の普通・特別教室管理棟において、特別支援学級の児童が3階の窓を閉めようとしたところ、強い力が加わり、レールから窓枠が外れ、1階の軒先に落下した後、駐車していた2台の自動車に当たり損害を与えたものです。

また、被害のあった2台の自動車が駐車していた場所は、指定された場所に正しく駐車されていたと聞いています。

今後は、施設の安全性向上に努めることで、事故の再発防止に万全を期すよう町に提言しました。

【要望として受けとめさせていただいた意見等】

- ・ 台風などの影響により、樹木が倒壊して大きな事故につながる可能性のある地域があります。樹木の伐採は、原則地権者が行うこととされていますが、事故が起きる前に、もう少し強制力のある条例などを制定し、地域住民が安心して生活できるような対処をお願いします。
- ・ 「観光・産業連携拠点づくり事業」については、多くの町民が内容を把握するために、動画の配信のほか、定期的に町広報紙への特集記事を掲載するなど、もっと積極的な周知をお願いします。
- ・ My City Report（マイシティレポート）を町で導入すると良いと思います。
- ・ 町職員の中途退職者が非常に多いという話をよく耳にします。町の行政を進めていく職員が、円滑に業務が遂行できなかつたり、意欲を持ってできなかつたりすると、結局は住民サービスの低下に結びついてしまいます。実際に中途退職者が多いという実態把握と、それに対する対策をお願いします。
- ・ 高齢者の外出支援事業について、現状の制度では、各種助成が重ねて受けられないことになっています。制度を充実させるためにも、複数の助成が重ねて受けられるような予算計上をお願いします。

- ・ 若者の支援について、ヤングケアラーへの実態調査をするとともに、具体的な支援策について検討をお願いします。
- ・ 近所の子育て世代の方とお話した内容を踏まえ、次の5点について提案します。
 - ① 小児医療費助成を高校生までに拡大
 - ② 一時預かり事業の対象を1歳児からではなくゼロ歳児に拡大
 - ③ 小学校の少人数学級実施に向けた検討
 - ④ 給食費の半額補助又は全額補助の実施
 - ⑤ 教職員の負担軽減を図るため、スクールカウンセラー及びソーシャルワーカーの拡充
- ・ 現在、区の自治会加入者が全体の約53%になっています。少しでも多く方に加入してもらえよう、引き続き広報紙などでも周知の協力をお願いします。
- ・ 意見交換会の開催にあたり、若い世代の人たちにも参加しやすいテーマを設定し、複数回の開催をしてはいかがでしょうか。
- ・ オンラインでの参加者については、事前に通信環境（速度）の確認をお願いします。
- ・ 議会モニター制度の導入をしたほうが良いと思います。
- ・ ホームページの議会定例会の人事議案結果には、個人名が掲載されていません。具体的な氏名を掲載した方がわかりやすいかと思いますので検討をお願いします。
- ・ 議会だよりの一般質問の記事は、内容が難しいと感じるので、誰が読んでも理解しやすい表現に改善するべきだと思います。
- ・ 議会だよりの一般質問の記事は、スペースや文字数が限られているのは理解しますが、もう少し質問の背景や経緯、また、質問に対する答弁は、具体的な内容を掲載してください。
- ・ 愛川町の議会だよりに広告を掲載できるように検討をお願いします。
- ・ 議会クイズの当選者を3名からさらに増やすことを提案します。

議場で開催した意見交換会の様子

